

第1回九州地区国立大学間合宿共同授業報告書

<https://doi.org/10.15017/21061>

出版情報：九州地区大学一般教育研究協議会議事録. 1, 1977-05-31. 九州大学教養部
バージョン：
権利関係：



◀共同授業運営委員会は全教官で構成され、会期中臨機に開催された。授業の進め方、単位の認定、学生側のニーズの汲み上げなどについて話し合いを行い、まさに「現地教授会」としての機能を果たしたわけである。

▶「学生側世話人会」は、参加学生と共同授業運営委員会との間のパイプ役として、陰に陽に重要なはたらきをした。7名（各大学1名、但し九大は2名）で構成されるものであるが、ときにはとび入りもあったようだ。なお、この世話人会のカゲのチェアマンとして、松崎九大教務掛長のことを忘れる訳にはいかない。



◀講義風景のスナップ(1)



◀講義風景のスナップ(2)

▶ソフトボール大会(1)：学生が投げ教官が打つ。ファーストを守るのは事務官だ。



◀ソフトボール大会(2)：決勝戦もいよいよ延長6回裏、スクラム組んで反撃へのファイトを叫ぶチーム。



◀ 懇親会は盛りあがる。

懇親会は深更におよんだ▶



◀ バズ方式による全体討議。
6人で6分間話し合う。短い時間だが全員が発言できる。大人数の討議にはとても効果的だ。



解散を前に全員集合！ 背景にあるのは研修センター。

